

長根山野球場 改修工事完了

～一足遅れてプレーボール～



長根山運動公園野球場が新しく生まれ変わりました。内外野のコンクリートフェンスには、擁護ラバーを取り付け、バックネット裏のメインスタンドからは、鉄柱を取りはずしました。これで、選手も観客も今まで以上に野球を楽しむことができます。

6月9日が 今シーズンの開幕

長根山運動公園野球場は、昭和五十四年三月に建設されました。両翼九十一メートル、センター二百二十メートル、バックネット裏のメインスタンド（いす席千六百六十人）、内野スタンド（いす席千三百七十人、芝生席五百人）、外野スタンド（芝生席千二百五十人）を合わせた四千七百二十人を収容することができま。全県や東北規模の大会も開催され、数多くの人々に利用されています。

改修工事は、今年の四月二十日から始められ、選手のフェンスへの激突時の衝激をやわらげケガを防止する目的で、内外野のコンクリートフェンスに擁護ラバーを取り付けました。また、バックネットの全面張り替えは、メインスタンドの視界から鉄柱を取りはずして死角をなくし、ネットも鉄製からポリエチレン製に替え、切れにくくさびないものになりました。

この改修は、野球関係者から強く要望されていたもので、五月三十日て工事は完了しました。六月九、十日に行われた第三十二回大館市内小学校親睦野球大会が、今シーズンの長根山運動公園野球場のプレイボールとなりました。

バックネット裏は すつきりきれいに

擁護ラバーは、厚さ四センチのウレタンを中に入れたもので、内外野のコンクリートフェンス（総延長三百三十五・三メートル、高さ一九メートル）に取り付けました。

バックネットは鉄製のものがステンレスワイヤを中軸にポリエチレン繊維で編んだ特殊混合ネットに替え、バックネット裏の七本の鉄柱も取りはずしました。そして、両外野スタンドに一本ずつ、メインスタンド裏の場外（球場正面）に四本の鉄柱を設置し、直径二センチほどのワイヤでネットを固定しました。

また、近くの民家にボールが飛び込むのを防ぐため、レフト側のフェールゾーンに防球ネット（幅三十五メートル、高さ七メートル）を取り付けました。

労働福祉会館 完成は12月

完成は12月

市では、大館（田町）野球場の隣にある労働会館の改築を進めています。建物工事費が九千九百九十九万円を超え、議会の議決を得て建物工事に着手することになりましたが、解体工事にはすでに着手しています。完成は十二月十日の予定です。

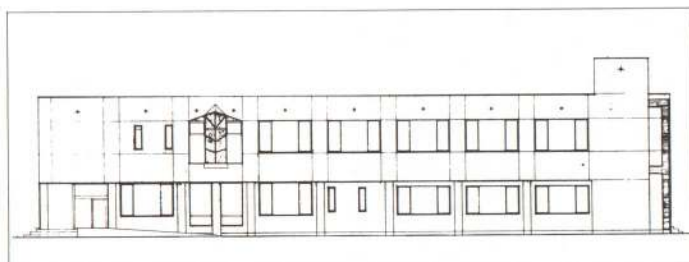
広く市民に 開放します

労働会館は、昭和四十五年に建設された木造モルタル二階建ての建物です。老朽化が著しくなってきたことから、建物を解体して同じ場所に労働福祉会館を建設することにしました。

この労働福祉会館には、労働団体事務局が入居するほか、公共施設として広く市民に開放するため、名称を労働会館から労働福祉会館と改めることにしました。

200人収容する 大会議室も

労働福祉会館は、鉄骨づくり二階建て、延べ床面積は九百七



労働福祉会館の完成予想図

十一・九平方メートル。労働会館の二倍近い規模になります。一階には、事務室と管理人室、会議室三室、和室一室などのほか、ロビーや展示コーナー、印刷室、身障者用のトイレも設置します。二階には、二百人を収容できる大会議室と三十畳の和室などが設けられています。総事業費は、約二億二千万円を見込んでいます。